

7月14日の九州北部豪雨で被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を願います。

## 平成24年度総会・支部研修担当者研修会報告

平成24年6月12日(火) 午後、福岡市「都久志会館」において、福事研総会および支部研修担当者研修会を開催しました。総会には、代議員114名(委任状提出を含む)が出席し、平成23年度事業報告・決算報告・監査報告、平成24年度役員選任および事業計画案や予算案について審議し、原案どおり承認されました。総会資料はホームページに掲載していますので是非ご覧ください。なお来賓として公益財団法人日本教育公務員弘済会福岡支部常任幹事(事務局長)石橋省吾様が出席されご挨拶をいただきました。



総会後の研修会では、福事研の新たな研究大会のあり方について研究部の考えを説明し、参加者の質疑や意見を求めました。この中で特に分科会発表の地区輪番制については、様々な意見が出されました。当日提出されたアンケートと共に、今後の研修を進めるにあたり参考にさせていただきます。

### ＜鬼塚会長挨拶＞

第14回福事研総会に参加していただきありがとうございます。福事研も発足から13年目を迎

えましたが、私たち学校事務を取り巻く状況は大きく変わって参りました。平成10年中教審答申において学校事務の共同実施が提起され、福岡県においても平成19年度から始まり、現在ほとんどの市町村で実施されています。本格実施から5年経過した今、管理職や教育事務所等の共同実施に対する期待も大きくなってきています。現在、各地区で様々な取組がおこなわれていますが、今後は対外的にも目に見える形での成果をアピールする必要があります。

次に教育施策の大きな流れとしてコミュニティスクールの推進が上げられます。平成17年度に始まったコミュニティスクールは、平成24年度には1100校を超える学校へ導入されました。福岡県でも12の市町で60校が導入されています。今年度の教職員定数改善の中でコミュニティスクール支援のための事務職員加配が始めて盛り込まれ、福岡県では三つの市町で4名の加配がありました。これからは学校事務職員が職務として地域連携事業に関わる時代になっていくでしょう。今年度春日市で第1回全国コミュニティスクール研究大会が開催されます。関心がある人は是非参加していただきたいと思います。

教育施策が大きく変わっていく中、私たち学校事務職員がそれらの変化に対応できるような力をつけていかなければなりません。福事研の研究大会が実践交流の場になればと考えています。

## 第44回全国小中学校事務研究大会(茨城大会)に参加して

北九州市立 八幡西特別支援学校 主任主事 松浦 一郎

今年度の全事研大会は、8/2～8/3の2日間の日程で、茨城県つくば市のつくば国際会議場で開催されました。私は今年初めて参加をさせていただきましたが、全国から約2300名もの事務職員の方々が参加しているのを目の当たりにし、非常に活気のある大会なのだと感じました。

大会1日目では、まず5月に発生した竜巻の犠牲者に対して黙とうをささげ、開会式にて本大会実行委員長の開会宣言で開幕しました。午後からの全体研究会ではオリエンテーション、基調報告が研究部長からあり、その後3名のシンポジストの方を迎えて「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務～事務職員のキャリアデザインと能力開発～」というテーマで、冗談を交えつつ楽しくも熱い議論がくり広げられました。その中で、印象に残った内容が、教職員の専門免許のことでした。事務職員は恒常的に学校の財務を行っているため、そこに強みがある。だが、専門免許で経営免許を取得した管理職が学校にいる場合、【仕事でやっていた < 経営免許】となり、マネジメント分野での事務職員の強みが弱まってしまうという懸念が出てくる。そこで、この専門免許の制度が完備された際に事務職員は積極的に経営免許を取得し、経験＋免許という強みを手に入れるべきだということでした。そうすることで教員とは違う力を発揮し、教員との差別化をはかり、事務職員の必要性をより明確に示すことができるだろうということでした。また、事務職員の今後持つべき能力としてコーディネート力やマネジメント力、情報収集力、コミュニケーション力をつけ、事務職員の必要性を学校内外に示す必要性があるだろうとのことでした。そのためには行政からだけでなく、地域からの情報（地域の真意）など多種多様な情報をキャッチする「大きなパラボラアンテナ」に事務職員がなるべきだ、というコメントがありました。会場の多くの方が納得

をしたようで、その重要性について知ることができました。



大会2日目は6つの分科会に分かれて、様々な支部の研究発表がありました。私は本部分科会に参加しました。「学校力が向上する学校評価システムの構築と学校事務～学校評価の効果を高める組織開発と事務職員の役割～」というテーマで、提案者3名の方から5つの学校評価に関する現状と課題について提案があり、会場からの質問を募られました。その後、提案の内容や質問に対する回答も含めて茨城大学の加藤准教授から多くの助言をいただきました。初めて参加した私にとって、聞き慣れない言葉が多く飛び交っていましたが、逐次質問や研究集録を読むことで、確認することができました。また、本部分科会参加者全員に配られたYES / NOのパネルを使った現状調査などで、事務職員の意識や学校の現状について知ることができたのは良かったと感じました。その中で、学校広報としてどのようなことが考えられるかという項目がありました。広報誌の発行だけでなく、電話対応や生徒の登下校も学校の広報に含まれるとのことでした。確かに、地域の方々は電話での対応や、生徒の登下校の様子を見て、この学校はどのような感じなのかを知ることになるため、普段の対応が大事であるということを再認識させてもらいました。この分科会で強く感じたのが、学校評価に事務職員が関わる環境ができ

ていないということでした。文科省の調査結果から学習指導等を直接的教育活動、教育環境整備や組織運営、情報提供等を間接的教育とした場合、直接的教育の割合が高い結果が得られ、学校評価で事務職員の関わる環境が整っていないのだと実感できました。このような現状から、自己評価、学校関係者評価、第三者評価を行い、学校だけでなく地域の実情に合わせて行うべきであるという提案があり、その通りだと感じました。分科会終了後、まとめの会があり無事閉会し、その後次回金沢大会への引き継ぎ式が行われました。

全体を通して、初めて聞く内容が多く、ぱっと行って理解しながら聞くというのは難しいものだと感じましたが、事務職員の能力向上や現状をより良くするためにはどうすれば良いか、というのを常に考えながら研究されているのだと、熱い情熱を感じました。参加したことで新たな知見が得られ、自分の学校で実践できるものがあれば取り組んでいきたいと思いました。また、次回金沢大会も参加できるのであれば参加し、得られた情報から学校や地域に還元できる取り組みを進めていきたいと感じました。

---

### 教職員互助会評議員について

---

教職員互助会が平成 25 年度に一般財団法人に移行することにより、互助会評議員の数や評議員会の権限が変わります。今回、互助会評議員に本会から 4 名の推薦依頼を受けました。推薦書の提出期限が 8 月初めであったことや、会則に他団体役員の推薦に関する規定がないため、急きよ、支部代表者の了解を取った後、現役員の中から選出することにしました。役員会で協議した結果、鬼塚会長、木村・武原・野村副会長を被推薦者に決定しました。なお互助会評議員の任期と福事研役員の任期は何ら関係ないことを確認しました。

---

### 第 15 回研究大会のお知らせ

---

12 月 14 日(金)、都久志会館を主会場に第 15 回福事研研究大会を開催いたします。

「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」をテーマに、午前中は春日市教育委員会 工藤 一徳 学校教育部長(予定)の講演、午後は三つの分科会に分かれ、それぞれのテーマで研修を進めます。年末という慌ただしい時期ですが、年に一度の研究大会ですので、ぜひ参加をお願いします。詳細は第一次案内(9月中旬)及び、第二次案内(10月上旬)をご覧ください。

---

### 第 15 回九州各県事務研究会役員研修会

---

9 月 7 日(金)熊本市水前寺共済会館において、標記の役員研修会が開催され、九州各県(沖縄を除く)から 37 名が参加しました。初めに地元熊本県の藤川英一会長の挨拶、続いて全事研九州地区委員長である宮崎県の寺町裕史会長が挨拶され、各県自己紹介を経て議事に入りました。

宮崎県の寺町会長を議長に、議事では各県の取組や研究課題、研究大会の日程等の説明がありました。本県からは鬼塚会長ら役員 7 名が出席し、今年度の研究の取り組みなどを報告しました。



地元熊本県から、第 47 回全事研熊本大会は、2200 名以上の参加者を目標に、平成 27 年 8 月 5 日から 8 月 7 日の 3 日間の日程で、熊本県立劇場を主会場に開催するという報告があり、現在記念講演の講師の人選等を含め、準備を進めているとのことでした。参加人員など各県一致して協力することを確認しました。

## 経過報告

5月23日(水)

第1回拡大研究推進委員会(支部代表者会)

6月12日(火)

第2回研究特別委員会

6月12日(火)

第14回総会及び支部研修担当者研修会

7月24日(火)

第3回研究推進委員会(役員)

7月24日(火)

第3回研究特別委員会

8月1日(水)

全事研総会(鬼塚・武原・木村・橋本)

8月2日(木)～8月3日(金)

第44回全事研大会(茨城大会)

9月7日(金)

第15回九州各県事務研究会役員研修会

10月5日(金)

第4回研究推進委員会(理事)

## 平成24年度(2012年度) 役員・理事

役職名	氏名	所属	
会長	おにつか 鬼塚 信也	柳川市立大和中学校	
副会長 (総務部)	きむら 木村 まさゆき 正幸	北九州市立大蔵中学校	
副会長 (研究部)	たけはら 武原 ひろし 寛	大野城市立大野北小学校	
副会長 (研究部)	のむら 野村 あきつぐ 明告	福岡市立友泉中学校	
副会長 (広報部)	さんこだ 三小田 はやと 迅人	八女市立南中学校	
事務局長	はしもと 橋本 つとむ 勉	田川市立伊田中学校	
事務局次長	もろくま 諸隈 さとし 智	宗像市立城山中学校	
事務局員	たしる 田代 こういち 浩一	那珂川町立那珂川中学校	
事務局員	もり 森 さとし 聡	北九州市立千代小学校	
監事	ひがし 東 ひさよし 尚嘉	豊前市立角田小学校	
監事	うりゆう 瓜生 なおこ 直子	直方市立直方東小	
監事	みやはら 宮原 けいこ 恵子	久留米市立青峰小学校	
理	福岡市 (研究部)	あかぎ 赤木 あけみ 明美	福岡市立多々良小学校
	北九州市 (総務部)	おだむら 小田村 のりこ 典子	北九州市立日明小学校
	京築地区 (研究部)	ついき 築城 まさみ 昌実	みやこ町立黒田小学校
	北九州地区 (広報部)	こばやかわ 小早川 しんいち 晋一	中間市立底井野小学校
	筑豊地区 (広報部)	たけもと 竹本 ひろみ 弘美	赤村立赤小学校
	福岡地区 (総務部)	しばた 柴田 まさはる 正治	春日市立春日西中学校
	事	北筑後地区 (研究部)	こうたけ 高武 しょういち 正一
南筑後地区 (総務部)		りゅう 竜 のりこ 典子	大川市立田口小学校

### 福岡県学校事務 長期ビジョン検討委員会 (仮称) 委員について

今年3月にお知らせしていたとおり、福岡県の学校事務及び学校事務職員の将来像を検討するため、会則の規定に基づく特別委員会として「福岡県学校事務 長期ビジョン検討委員会(仮称)」を設置することにしました。この会は福岡県の学校事務職員の目指すべき方向について、将来ビジョンという形で提言を行うことにしています。また上記ビジョンは、平成27年度全事研熊本大会で本県担当分科会でも発表する予定です。委員の推薦については、9月中に各地区理事(支部代表者を通じて)から連絡があります。広く会員の皆様に委員として参加していただきたくお知らせいたします。

▽前号や総会でもお知らせしたように福事研ホームページを一新しました。▽福事研会報も紙ベースからHPへの掲載に変更しました。▽今年度は年2回発行(9月と3月)する予定です。▽会報への意見や要望などを是非お寄せ下さい。

会報連絡先 八女市立南中学校 三小田迅人